



臨床研究に関する情報の公開

2025年6月16日作成

研究課題名	早期子宮頸癌に対する子宮頸部摘出術後の予後に関する研究
研究の対象	2005年1月～2022年12月に子宮頸部摘出術を受けられた早期子宮頸癌の方。(治療開始時に18歳未満であった方は除く)。
研究目的・方法	<p>妊娠を希望する早期子宮頸がんの患者さんに対しては、子宮頸部摘出術や円錐切除術といった妊孕性温存手術が行われています。これらの手術は、腫瘍学的予後を確保しながら妊孕性を維持する必要があるため、適応の判断が非常に重要であり、特に比較的高いリスクとされる患者さんに関しては、臨床情報が不足しています。</p> <p>本研究の目的は、日本における子宮頸部摘出術の治療成績(腫瘍学的予後や妊娠率など)と患者背景(術前の画像所見や術後の病理所見など)との関連を後方視的に調査し、比較的高いリスクと考えられる早期子宮頸がん患者さんに対する妊孕性温存手術の有効性と安全性を明らかにすることです。本研究の成果が、妊娠を希望する患者さんにとって有益な情報となり、患者さん本位の医療の実現につながることを期待されます。</p> <p>研究期間：2027年6月まで</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：病歴、手術や抗がん剤などの治療歴、副作用等の発生状況 等 試料：MRIなどの画像データ、病理標本 等
外部への試料・情報の提供	<p>各機関において、研究代表者・分担研究者が診療情報から情報を収集し、匿名加工情報を作成したうえで、匿名加工情報を電子データとしてパスワードをかけてメールあるいはクラウドにアップロードする形式で収集する。</p> <p>術前MRI画像についてはCD/DVDに情報を取り込み、宅配便で情報の保管責任者(近畿大学奈良病院)宛に輸送する。</p>
研究組織	近畿大学医学部 産科婦人科学教室 松村謙臣 近畿大学奈良病院 産婦人科 関山健太郎 京都大学医学部 婦人科産科学教室 万代昌紀 医学研究所北野病院 産婦人科 堀江昭史 関西電力病院 産婦人科 永野忠義 静岡県立総合病院 産婦人科 浮田真沙世
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867</p>



産婦人科 副部長 山内 綱大

研究責任者：公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

産婦人科主任部長 堀江 昭史

研究代表者：

近畿大学医学部 産科婦人科学教室 教授

松村 謙臣

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

Tel 072-366-0221(代表) 内線番号 3215